

シートにおける各項目の説明

予算の所在 と決算書頁

予算書の目名称

分析する事務
事業の名称

事務事業
の所管課

平成〇〇年度 決算概要書／事務事業評価シート

課名

予算	款	項	目	決算書
				頁

目 名

事業名称
〇〇推進事業

1. 概要

目的	分析する事務事業の目的	対象
住民福祉の向上		△△

事業概要	評価事業を構成する細事業についての主要な事業概要	事務事業の具体的な対象者
○ ■■支援事業…相談支援の実施 [対象:20歳未満の◎◎] ○ □□助成事業…住宅改造 [対象:①▲▲、②●●、③▽▽] ○ ☆☆推進事業…説明会の開催 [対象:市民] ○ ★★計画策定事業…計画の策定(計画期間:H22~H26) ○ ●●訪問促進事業…訪問調査の実施 [対象:◆◆]		

主な事業内容と経費	最終予算額	決算額と財源内訳

[illegible]

分析する評価事業に対する目的と手段を数値化し目標設定
※「〇〇推進事業」について設定

【成果指標】・・・分析する事業の成果(=目的)を数値化したもの
【活動指標】・・・成果に導くための行政の活動を数値化したもの
※ 個別事業をまとめた事業について設定するため、数値化できない事業も多い

2. 指標設定

成果指標	指標名	満足度	目標年度	H●●	設定理由			
	数値	50%以上			総合計画／後期基本計画において、基本施策の目標としているため			
活動指標	指標	a	相談数	b	給付数	c	説明会の開催数	d
	数値	目標	1000件	目標	15000件	目標	4回	目標

上記で設定した指標の実績
※上段=各年度の実績、下段=目標値に対する達成率

成果指標の実績

活動指標の実績

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H□□	H△△	H○○
満足度	%	32 %	34 %	41 %
		64 %	68 %	82 %

活動指標名	単位	H□□	H△△	H○○
a	相談数	500 件 50 %	800 件 80 %	700 件 70 %
b	給付数	12,000 件 80.0 %	13,000 件 86.7 %	13,500 件 90.0 %
c	説明会の開催数	2 回 50 %	3 回 75 %	4 回 100 %
d				

4. 課題と対応

課題
社会情勢の変化に伴い、市民ニーズが複雑かつ多岐にわたっている
対応（改善点等）
★★計画に則り、計画的な事業展開

「〇〇推進事業」の決算額及び予算額
※過去3年間の決算額、及び現年度予算額

過去3年間および現年度を踏まえた、翌年度予算の方向性
※ 確定ではない
※ 方向性:「増額」、「前年並」、「減額」、「予算措置なし」、「一」

5. 事業費・・・H○○～H○○（決算額）、H○○（予算現額）

決算額（千円）		H□□	H△△	H○○	H◇◇
うち経常経費		5,851	5,862	7,474	7,800
財源内訳	国 県 費	3,423	3,295	3,485	5,100
	市 債	2,428	2,567	2,609	2,700
	そ の 他				
	一般財源	3,423	3,295	4,865	5,100
	うち経常	3,423	3,295	3,845	5,100

6. H☆☆年度予算の方向性

方向性
減額
理由
★★計画策定事業の終了により、事業費が減額となる。 また、行政改革の観点から需用費等の削減に努めるため

評価事業の分析評価

※ 基準は別紙を参照

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	住民福祉の向上のために現時点では必要な事業であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	2	相談事業については、事業所が実施主体となった取組が期待できるため
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	目的を達成するために適切な手段であると判断できるため。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標に対する達成率も高く、有効性は高いと判断できるため

担当部署で評価・分析した事務事業を、内部評価委員会において評価。
「事業の方向性」と「評価内容」を付している

※ 事業の方向性・・・「拡充」、「継続」、「見直し」、「縮小」、「廃止」、「一」
※「一」については、廃止事業、定型的事業等について表記

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容